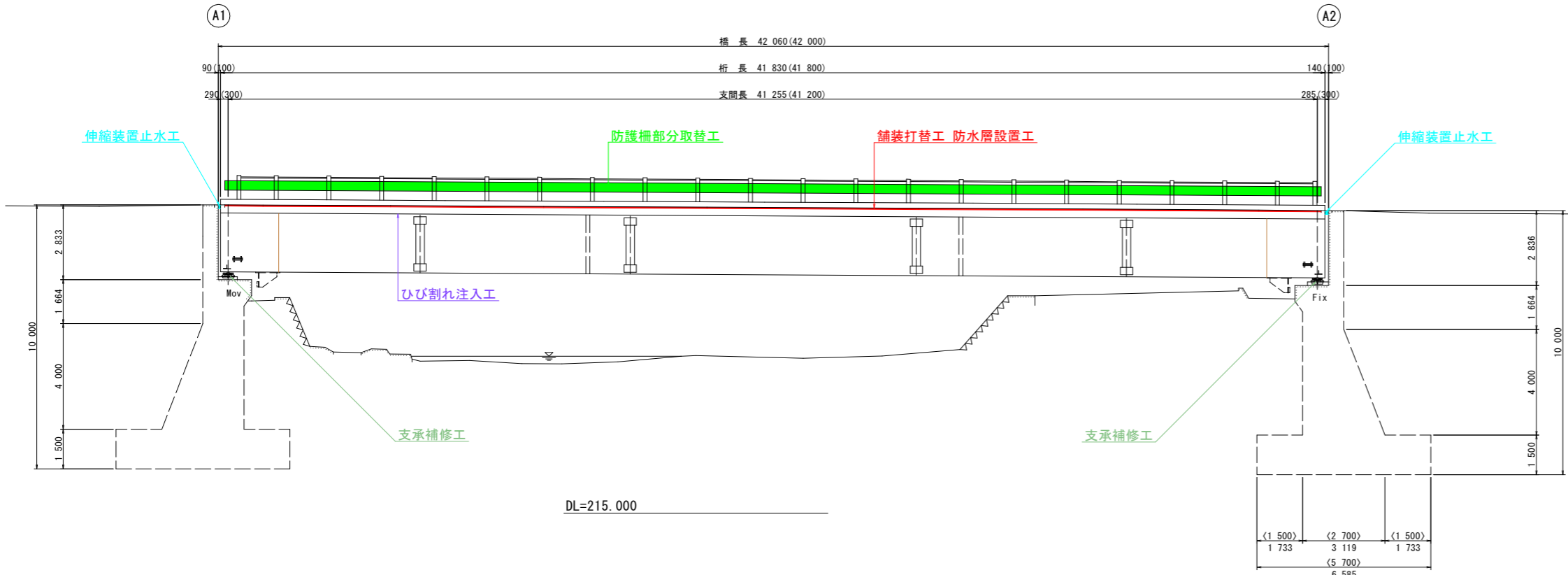
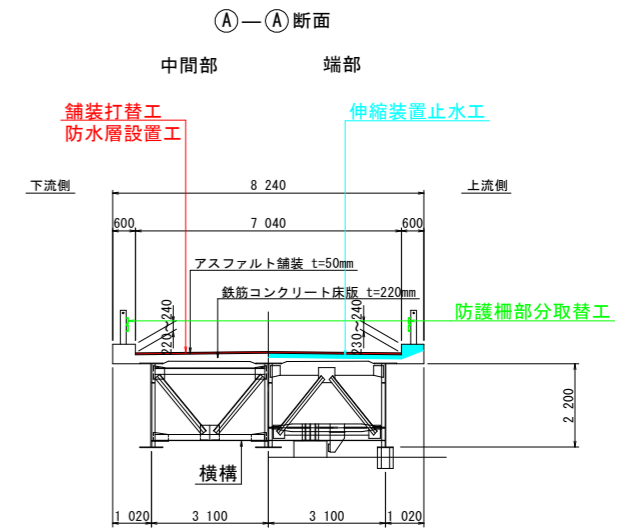


補修対策工全体計画図 S=1/100

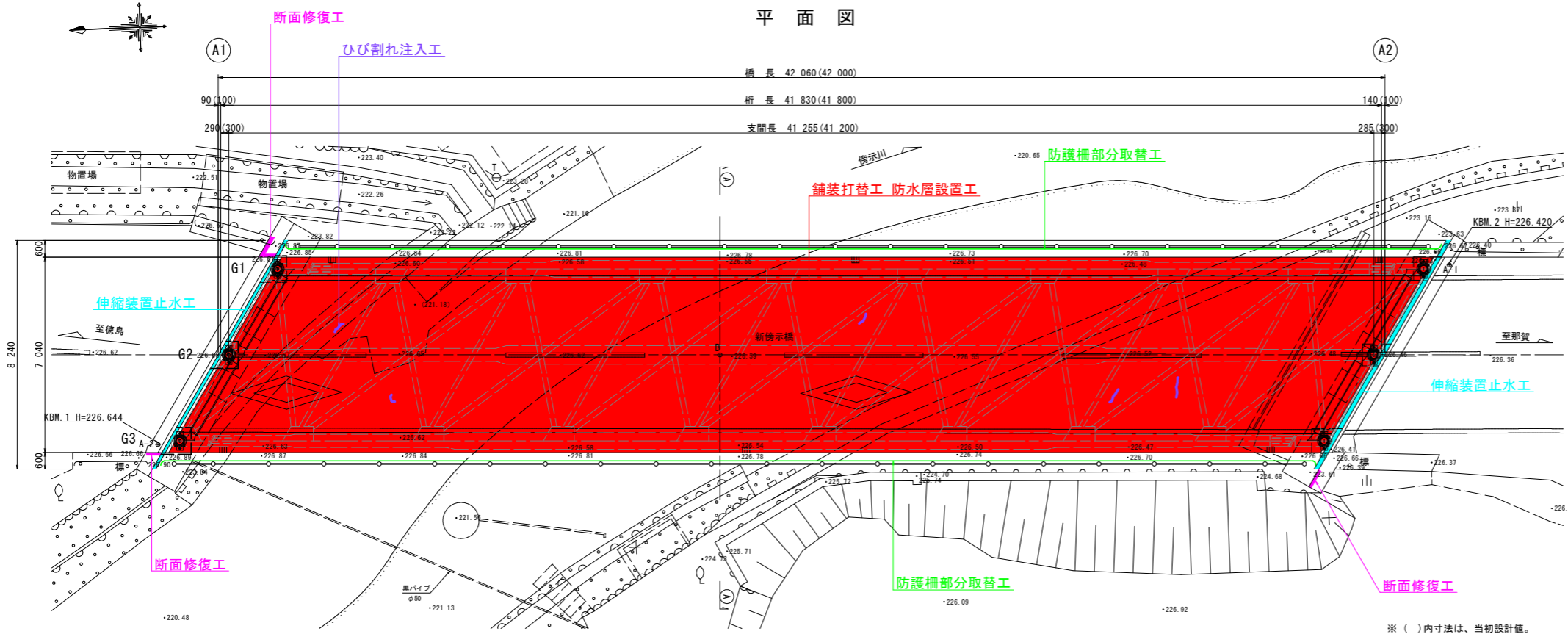
橋梁縦断面図



断面図



平面図



新傍示橋・補修工法一覧

工種	工法	備考
橋梁補修工	舗装打替工・防水層設置工	As t=50mm 塗膜系防水
	伸縮装置止水工	乾式止水材
	防護柵部分取替工	ビーム 橋銘板
	支承補修工	ストッパー ナット
	鋼部材塗替塗装工(端部)	RC-I系 RC-II系
	ひび割れ注入工	低圧注入
	断面修復工	ポリマーセメントモルタル

橋梁概要

路線名	主要地方道 徳島上那賀線
橋格	一等橋(TL-20 1964年(昭和39年)道示、1971年(昭和46年)耐震)
橋長	42.060m
幅員	7.040(車道幅員) 8.240m(全幅員)
斜角	A1(起点側) $\theta=60^\circ$ 、A2(終点側) $\theta=60^\circ$
上部工	A1-A2径間 鋼単純活荷重合成版桁橋 施工年次 昭和51年2月(1976年)
下部工	橋台 橋脚 橋台：半重力式橋台(A1, A2) 施工年次 昭和50年度(1975年)
交差物	2級河川 勝浦川水系 傍示川
添架物	水道管

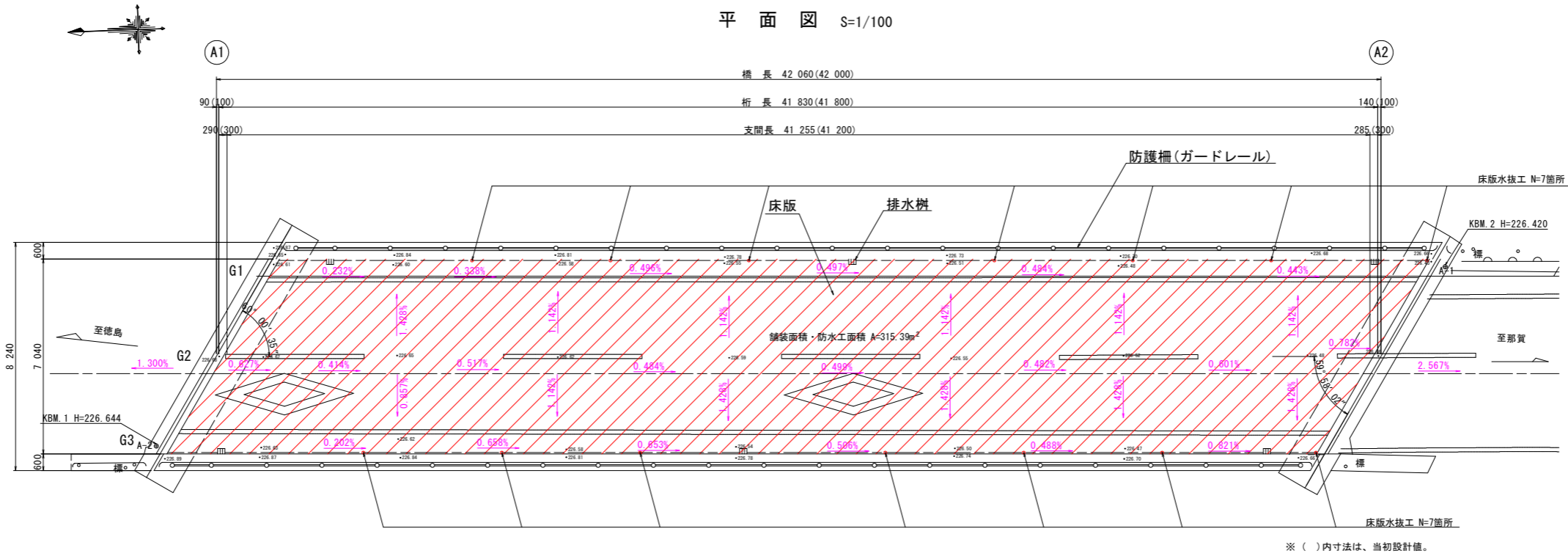
注記) 上表の内容は、橋梁台帳の情報を現地調査結果より修正しているものである。

【実施設計図面】

工事名	R8徳土 徳島上那賀線(新傍示橋) 上勝・傍示 橋梁補修工事
路線名等	徳島上那賀線
工事箇所	勝浦郡上勝町傍示(新傍示橋)
図面名	補修対策工全体計画図
縮尺	1/100 図面番号 1/8
年度	令和8年度
事業者名	徳島県土木整備事務所

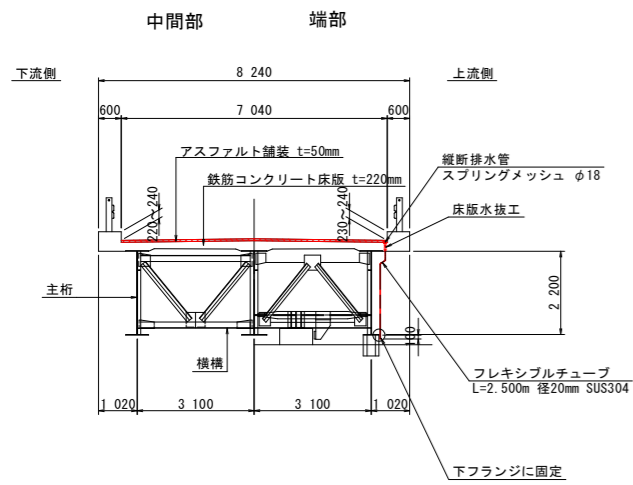
※ () 内寸法は、当初設計値。

橋面舗装打替工詳細図

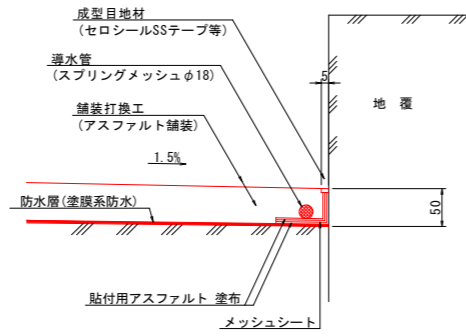


注記)
 ※1 防水層上の排水管は各橋面排水樹に接続させ、端部には床版水抜きパイプを設けること。
 ※2 床版水抜き箇所は鉄筋探査を行い、既設床版鉄筋を避けて設置すること。
 ※3 床版下面での作業については、橋梁点検車(BT-200相当)を想定。

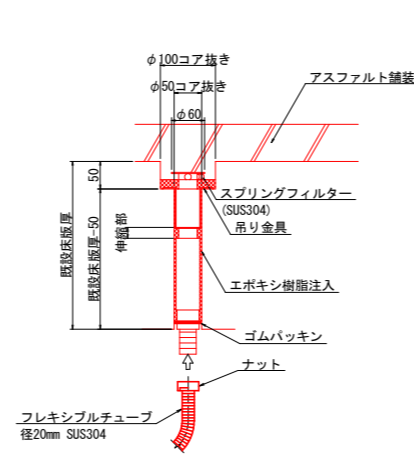
断面図



地覆部構造図 S=1:5



床版水抜き詳細図 S=1:5



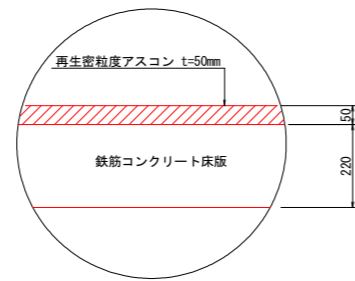
注1) 図は参考である。
 注2) 排水管は橋座の前面及び鋼材の下まで設置する事。

車道

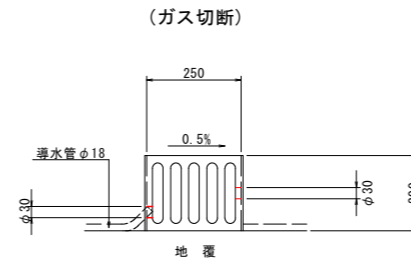
舗装打替工(アスファルト舗装)			
算式	数量	備考	
撤去 A=292.40	292.40 m ²	t=50mm	
復旧 A=292.40	292.40 m ²	表層 t=50mm	
舗装版切断工			
算式	数量	備考	
延長 L=41.3*3	123.9 m	t=50mm	
床版表面修復工(樹脂モルタル)			
算式	数量	備考	
数量 -	- m ³		
橋面防水工(塗膜系防水)			
算式	数量	備考	
面積 A=292.40	292.40 m ²		
区画線復旧工			
算式	数量	備考	
白色実線 t=15cm L=41.30*2	82.60 m	外側線	
白色破線 t=15cm L=5.0*4+1.30	21.3 m	中央線	
白色実線 t=15cm L=8.26*2	16.52 m	横断歩道又は自転車横断帯あり	

排水施設工(縦断排水管φ18mm)			
算式	数量	備考	
延長 L=41.3*2 - 0.25*6	81.1 m		
目地材 L=41.3*2 - 0.25*6	81.1 m	b=30mm	
床版水抜き(削孔径:φ50)			
算式	数量	備考	
箇所 N=14	14 基	(床版厚220mm)	
排水管(フレキシブルチューブφ20mm)			
算式	数量	備考	
延長 L=2.50*14	35.0 m	SUS304	
鉄筋探査・下向き(床版水抜き位置) 0.3*0.3 = 0.10m ² /箇所当り			
算式	数量	備考	
延長 A=0.10*14	1.4 m ²	SUS304	
表面排水樹孔明工			
算式	数量	備考	
延長 2か所/基*6基 φ30程度	12 孔	ガス切断	

舗装構成詳細図 S=1:10



排水樹孔明け工詳細図 S=1/10

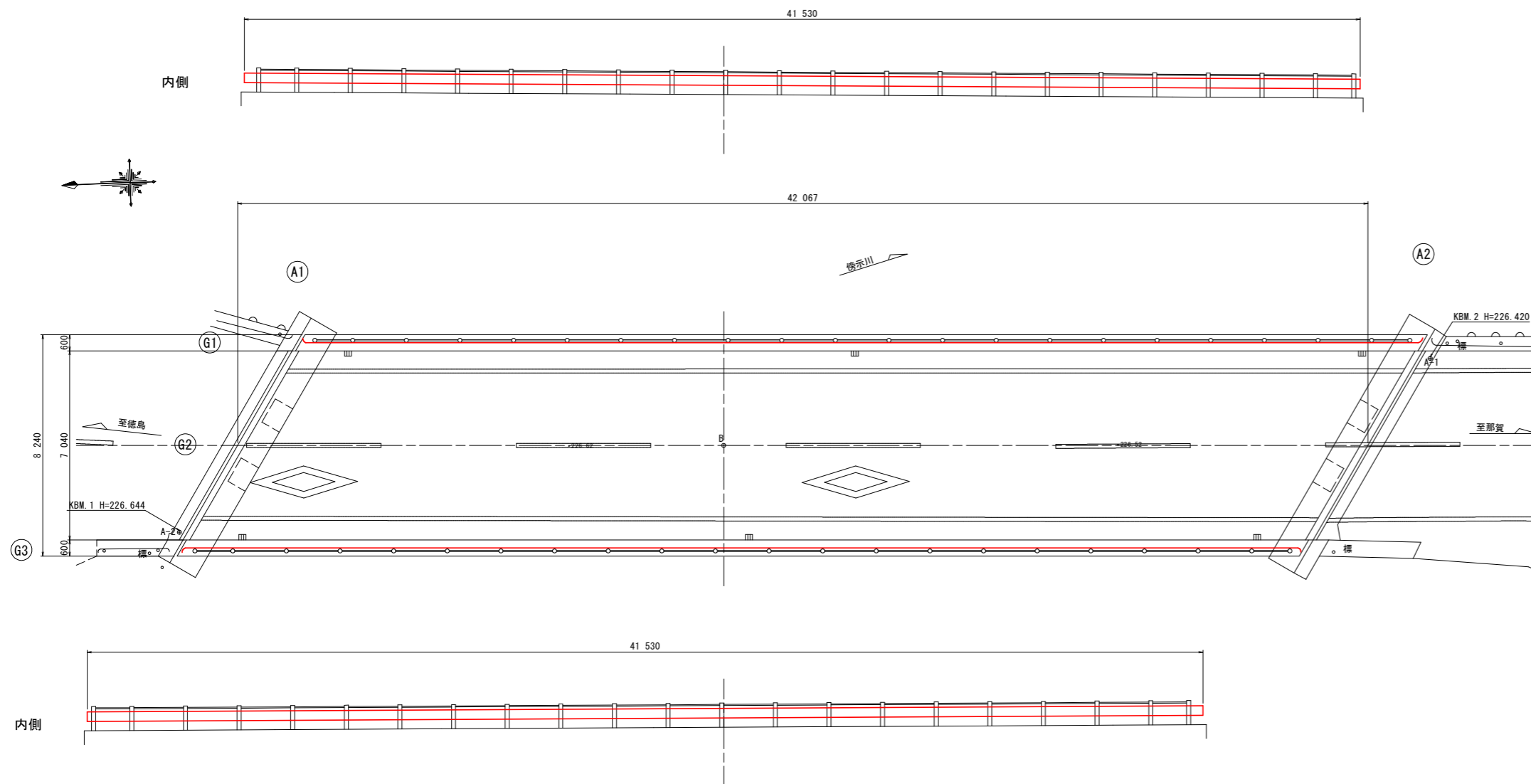


【実施設計図面】

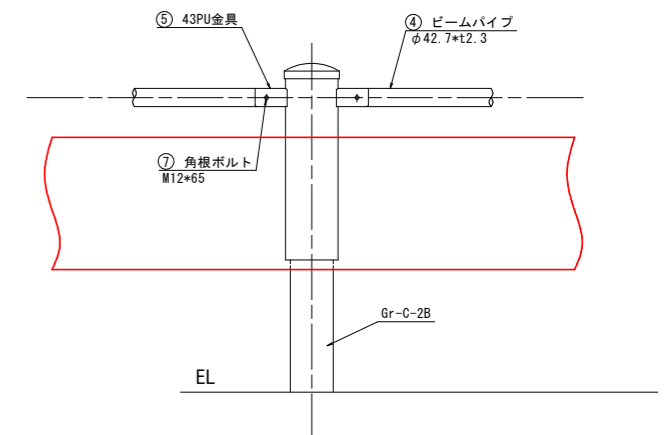
工事名	R8徳土 徳島上那賀線(新橋示橋) 上勝・傍示 橋梁修繕工事		
路線名等	徳島上那賀線		
工事箇所	勝浦郡上勝町傍示(新橋示橋)		
図面名	橋面舗装打替工詳細図		
縮尺	図示	図面番号	2 / 8
年度	令和8年度		
事業者名	徳島県土整備事務所		

防護柵部分取替工詳細図

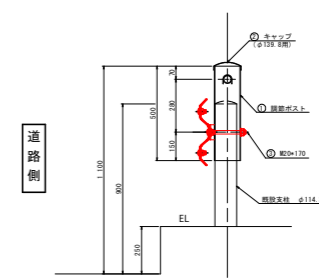
平面図・側面図 S=1:100



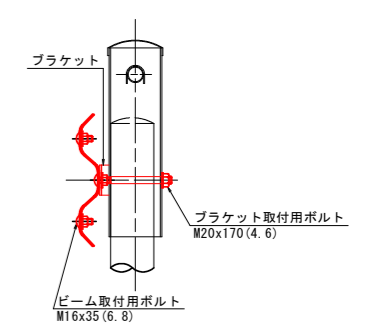
支柱図 S=1/10



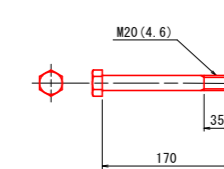
断面図 S=1/20



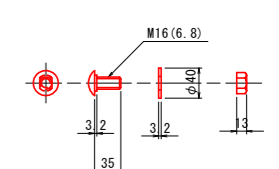
取付詳細図 S=1/10



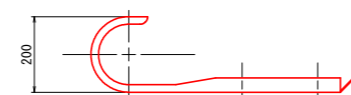
ブラケット取付用ボルト S=1/5



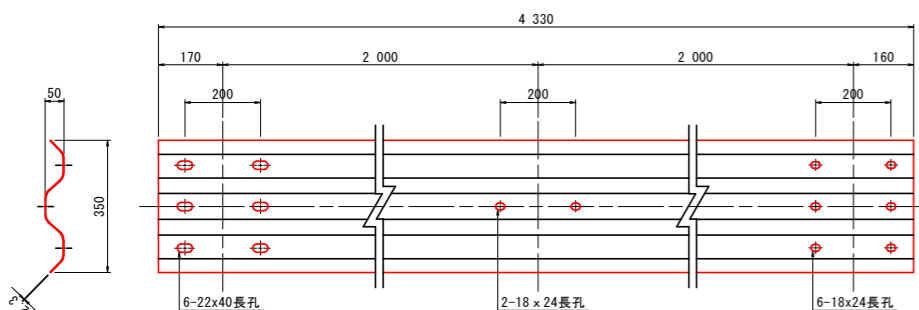
ビーム取付用ボルト S=1/5



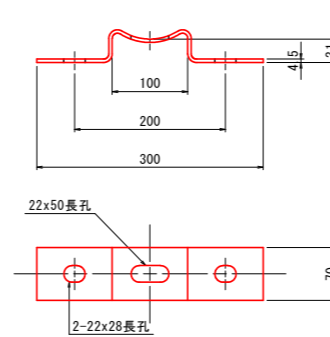
巻袖ビーム S=1/10



ビーム S=1/10



ブラケット S=1/5



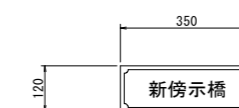
※橋銘板を取り付けること。

数量表

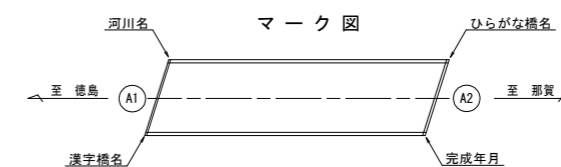
部材	規格	数量	摘要
ビーム (標準 L=2.00m)	Gr-c-2B	76.0 m	
ビーム (L=1.75m)	Gr-c-2B	7.04 m	1.76x4
巻袖ビーム	Gr-c-2B	4 箇所	
ブラケット	22x50長孔 2-22x28長孔	44 個	
ビーム取付用ボルト	M16x35 (6.8)	176 個	88x2
ブラケット取付用ボルト	M20x170 (4.6)	44 個	22x2

注) 現地実測の上、製作長を決定すること。

橋名板 (金属製銘板)



マーク図



【実施設計図面】

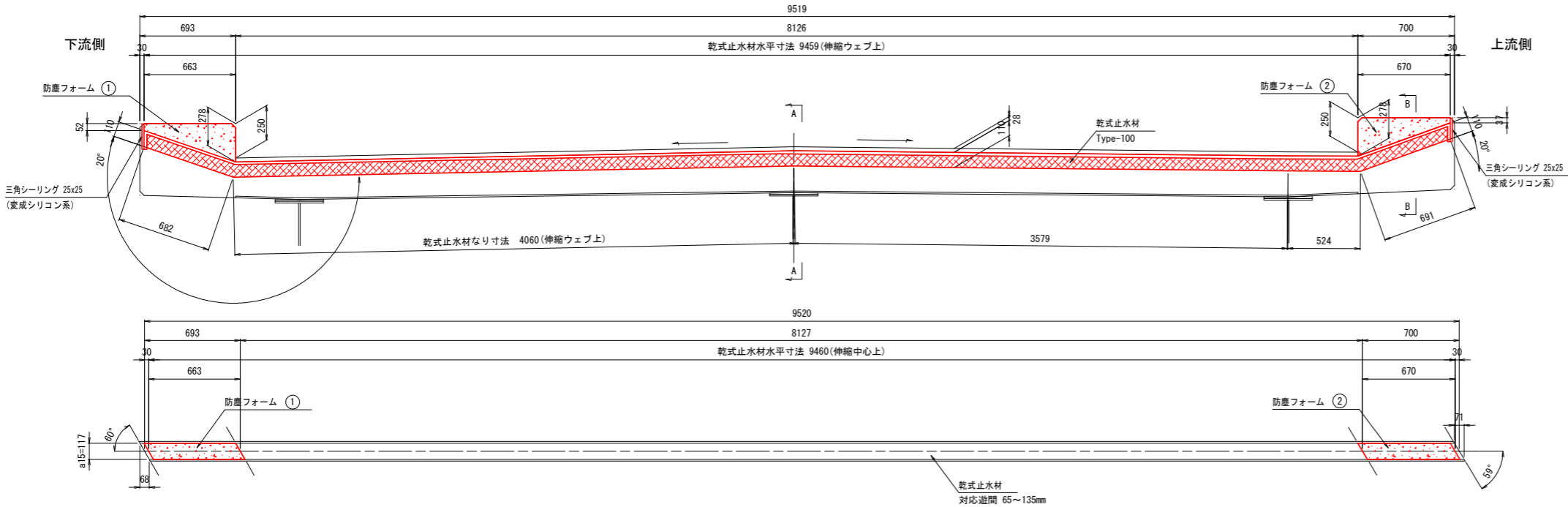
工事名	R8徳土 徳島上那賀線 (新傍示橋) 上勝・傍示 橋梁修繕工事		
路線名等	徳島上那賀線		
工事箇所	勝浦郡上勝町傍示 (新傍示橋)		
図面名	防護柵部分取替工詳細図		
縮尺	図示	図面番号	3 / 8
年度	令和8年度		
事業者名	徳島県土整備事務所		

伸縮装置止水工詳細図(その1) S = 1/20

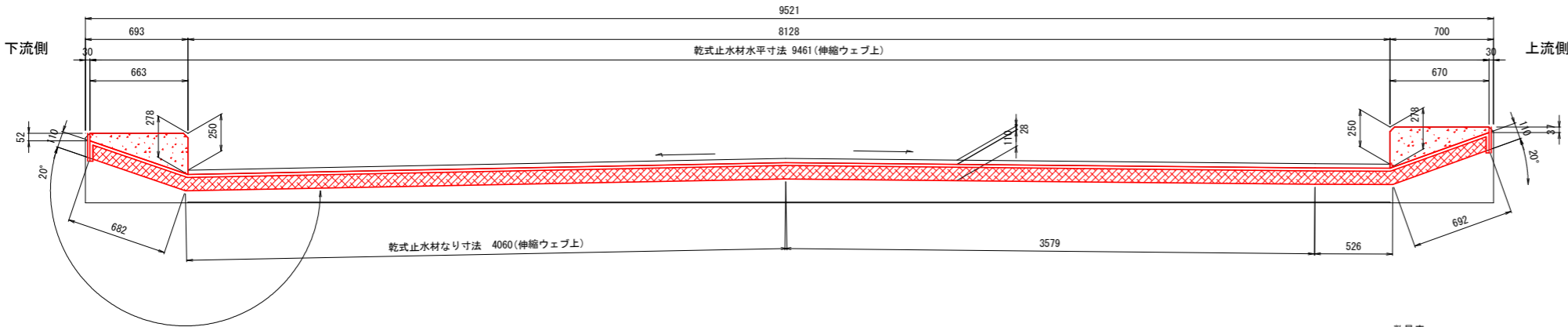
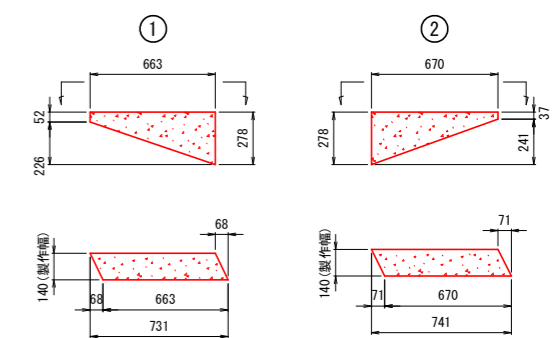
A1橋台

標準ウエブ遊間	+15°C時	117mm
最大ウエブ遊間	-10°C時	130mm
最小ウエブ遊間	+40°C時	104mm

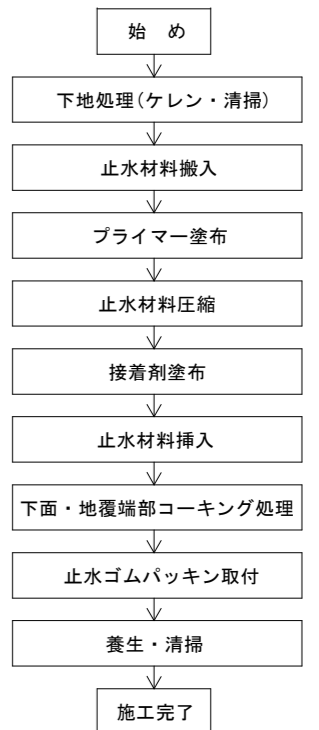
- 1-乾式止水材 対応遊間65~135*9607
 ① 1-防塵フォーム 140*278*731
 ② 1-防塵フォーム 140*278*741



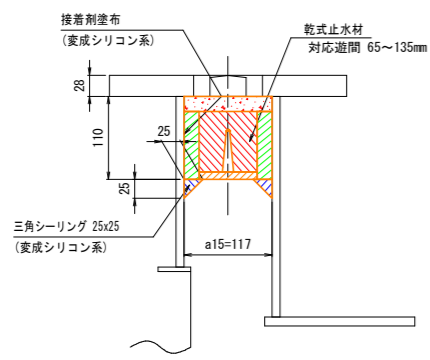
防塵フォーム詳細図
(ポリエチレンフォーム)
[製作幅=最大遊間+10=140]



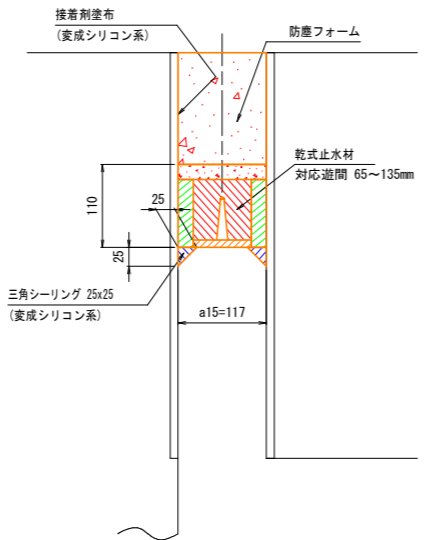
施工フロー



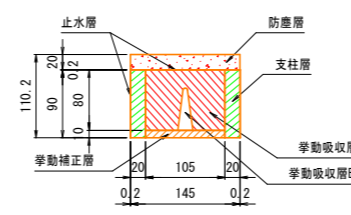
A-A S=1/5
若番側 老番側
車道部



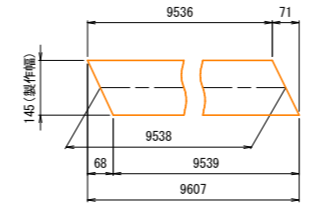
B-B S=1/5
若番側 老番側
地覆部



乾式止水材詳細図 S=1/5
対応遊間 65~135mm



乾式止水材端部詳細図 S=1/10



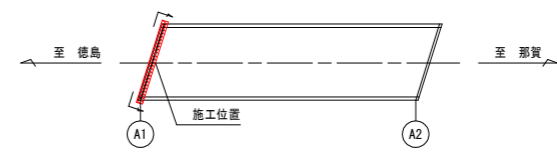
数量表

項目	規格	単位	数量	備考
乾式止水材	対応遊間 65~135mm	m	9.607	
防塵フォーム	ポリエチレンフォーム	リットル	30.09	
接着剤	2成分変成シリコン系	リットル	7.59	
シーリング材	2成分変成シリコン系	リットル	6.15	
プライマー	ウレタン樹脂系	kg	0.63	

注記

- 各種止水材を設置する際、伸縮装置本体の止水材接着面の下地処理を確実にすること。
- 接着剤(t=3)に接する両部材面及び各種シーリングに接する部材面にはそれらの施工の前にプライマー(0.1kg/m²)を塗布すること。
- 施工及び部材製作に際しては現地調査を行ない、本図面との照合を行なうこと。

マーク図



【実施設計図面】

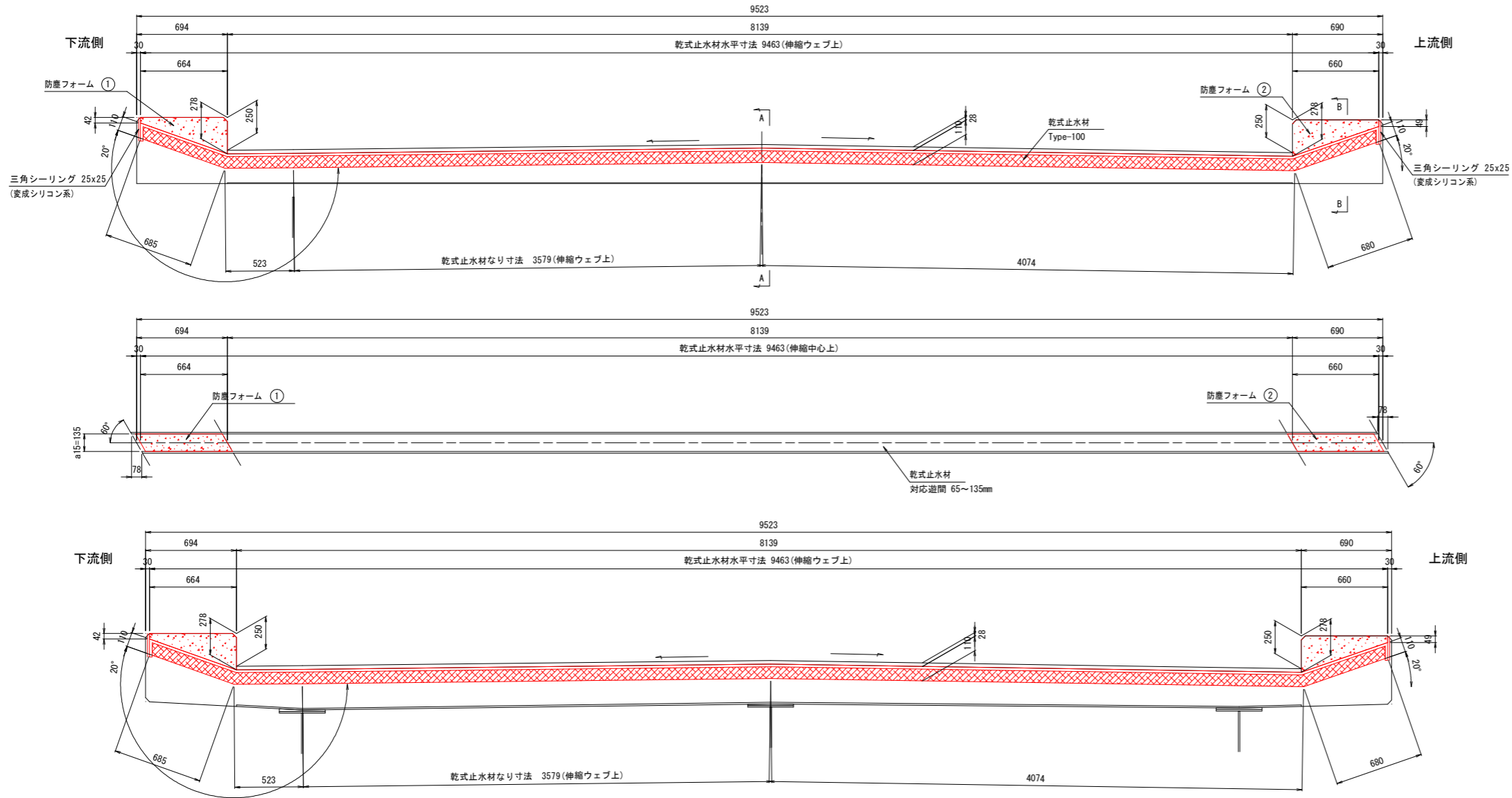
工事名	R8徳島 徳島上那賀線 (新橋示橋) 上勝・傍示 橋梁修繕工事
路線名等	徳島上那賀線
工事箇所	勝浦郡上勝町傍示 (新橋示橋)
図面名	伸縮装置止水工詳細図(その1)
縮尺	図示 図面番号 4 / 8
年度	令和8年度
事業者名	徳島県土整備事務所

伸縮装置止水工詳細図(その2) S=1/20

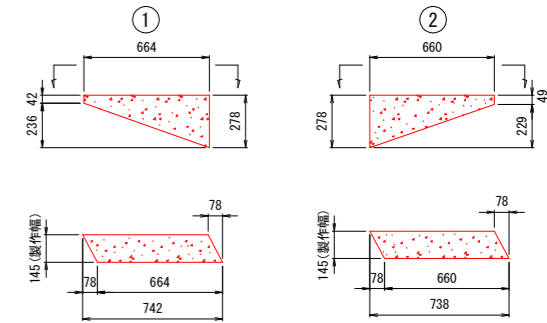
A2橋台

標準ウェブ遊間	+15℃時	135mm
最大ウェブ遊間	-10℃時	135mm
最小ウェブ遊間	+40℃時	135mm

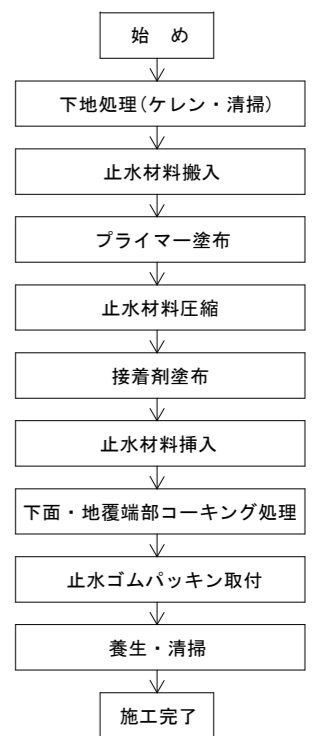
- 1-乾式止水材 対応遊間65~135*9619
- ① 1-防塵フォーム 145*278*742
- ② 1-防塵フォーム 145*278*738



防塵フォーム詳細図
(ポリエチレンフォーム)
[製作幅=最大遊間+10=145]



施工フロー



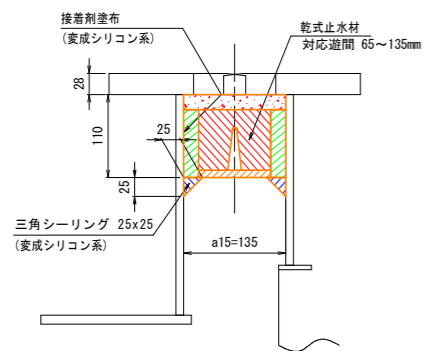
数量表

項目	規格	単位	数量	備考
乾式止水材	対応遊間 65~135mm	m	9.619	
防塵フォーム	ポリエチレンフォーム	リットル	31.05	
接着剤	2成分形変成シリコン系	リットル	7.59	
シーリング材	2成分形変成シリコン系	リットル	6.16	
プライマー	ウレタン樹脂系	kg	0.63	

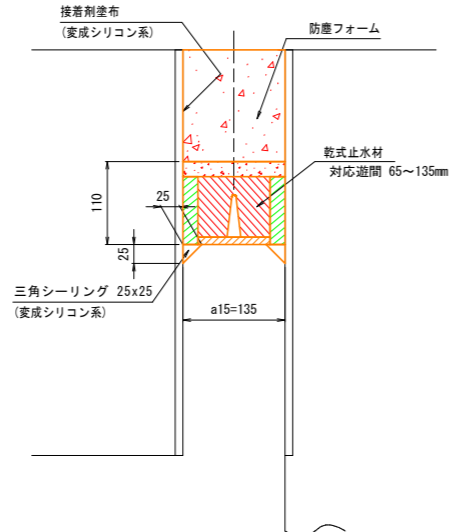
注記

- 各種止水材を設置する際、伸縮装置本体の止水材接着面の下地処理を確実にこなすこと。
- 接着剤(t=3)に接する両面材面及び各種シーリングに接する部材面にはそれらの施工の前にプライマー(0.1kg/m²)を塗布すること。
- 施工及び部材製作に際しては現地調査を行ない、本図面との照合を行なうこと。

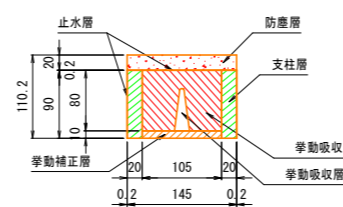
A-A S=1/5
若番側 老番側
車道部



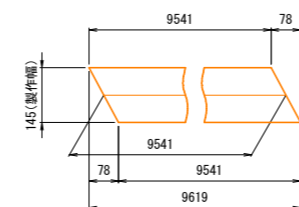
B-B S=1/5
若番側 老番側
地覆部



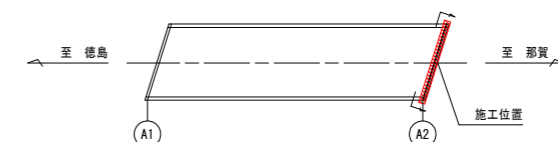
乾式止水材詳細図 S=1/5
対応遊間 65~135mm



乾式止水材端部詳細図 S=1/10



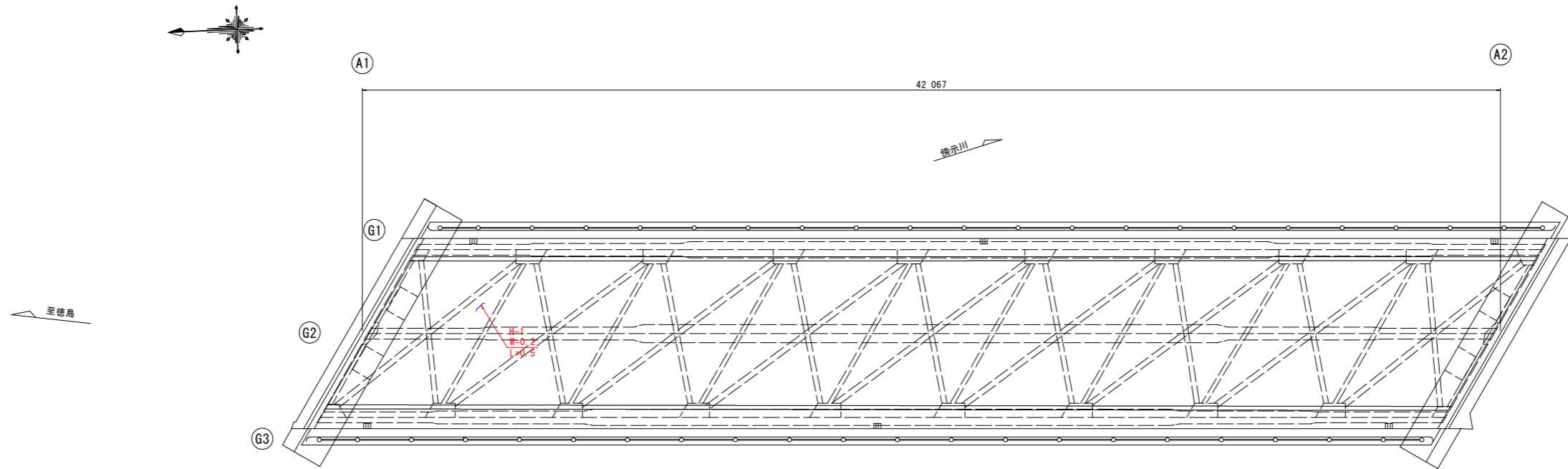
マーク図



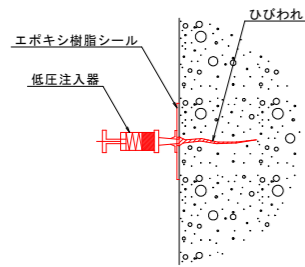
【実施設計図面】

工事名	R8徳島 徳島上那賀線(新橋示橋) 上勝・傍示 橋梁修繕工事
路線名等	徳島上那賀線
工事箇所	勝浦郡上勝町傍示(新橋示橋)
図面名	伸縮装置止水工詳細図(その2)
縮尺	図示 図面番号 5 / 8
年度	令和8年度
事業者名	徳島県土木整備事務所

ひび割れ補修工詳細図 S=1/100



ひびわれ注入工



※ 低圧注入器設置間隔 @300(標準)

注入量の算出要領
 $V=1200*b*h*L*1.30$
 V: 注入量
 1200: エポキシ樹脂系注入材 比重 (kg/m³)
 b: ひびわれ幅
 h: ひびわれ深さ
 L: ひびわれ長さ
 1.30: ロス率

ひびわれ注入工数量表

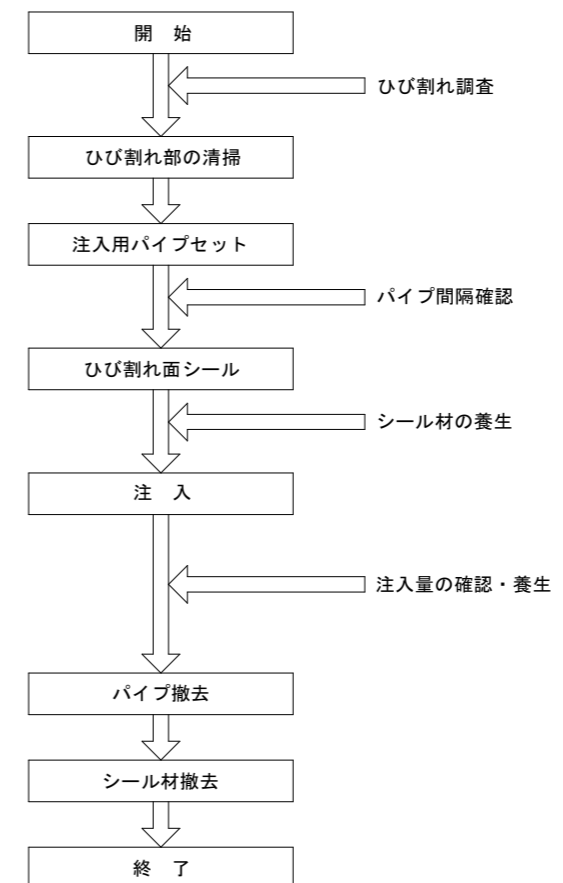
番号	幅(mm)	長さ(m)	深さ(m)	注入量(kg)	備考
H-1	0.20	0.50	0.20	0.031	
計		0.50		0.031	

※ 注入材料は、エポキシ樹脂注入材 3種とする。

注記)

1. 施工対象箇所を事前に詳細計測し、工事数量を調整すること。
2. 遊離石灰による閉塞傾向がある場合は、切削やウォータージェット等を検討すること。
3. 施工は、塗替塗装用足場上での作業を想定している。

施工フロー図



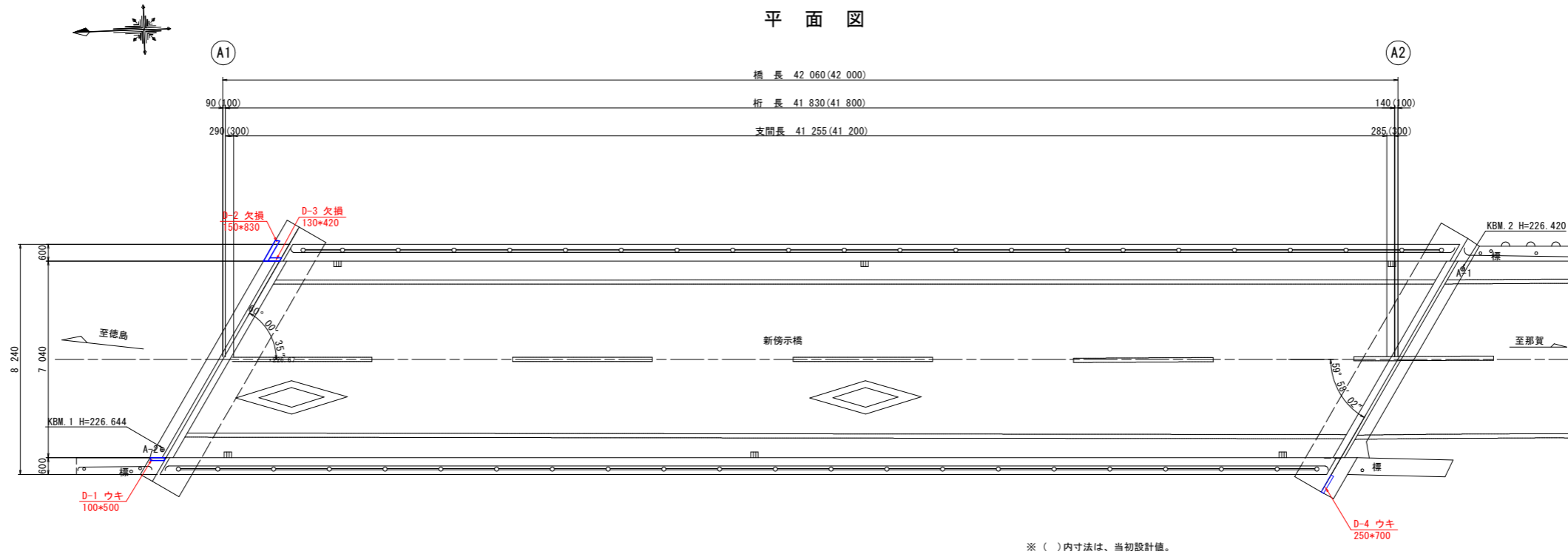
損傷凡例

記号	損傷名称
~~~~~	ひびわれ
~~~~~	ひびわれ+遊離石灰
	浮き、剥離
	鉄筋露出
	遊離石灰
	表面劣化
	漏水
	豆板
	鋼材腐食
	その他

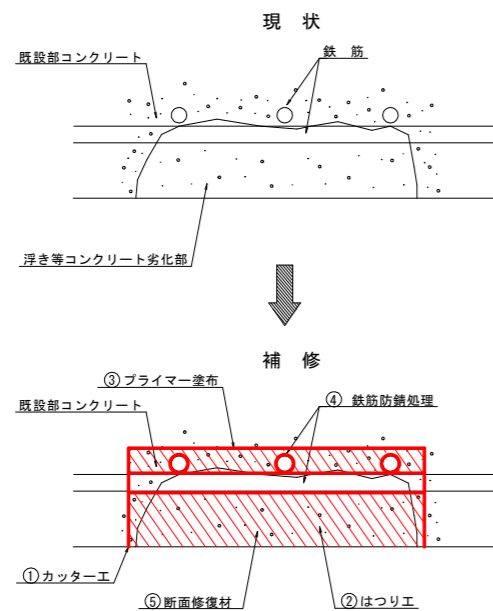
【実施設計図面】

工事名	R8徳島 徳島上那賀線 (新傍示橋) 上勝・傍示 橋梁修繕工事		
路線名等	徳島上那賀線		
工事箇所	勝浦郡上勝町傍示 (新傍示橋)		
図面名	ひび割れ補修工詳細図		
縮尺	1 / 100	図面番号	6 / 8
年度	令和8年度		
事業者名	徳島県土整備事務所		

断面修復工詳細図 S=1/100



断面修復工 [左官工法]



施工フロー図

- コンクリートはつり
 - ・はつり範囲をカッターで切断。
 - ・電動ピックを用いてコンクリート劣化部をはつる。
 - 鉄筋ケレン
 - ・ワイヤーブラシ等により鉄筋表面の錆を落とす。
 - 鉄筋防錆処理
 - ・ケレン後、鉄筋表面に刷毛を用いて鉄筋防錆材を塗布する。
 - 断面修復
- 1) コテ塗りは空隙を残さないように丁寧に施工する。
 2) 1回の塗り厚さは断面修復材の仕様の塗り厚さに従い、何層かに分けて施工する。

断面修復工数量表(鉄筋あり)

番号	幅(m)	長さ(m)	面積(m ²)	厚さ(mm)	数量(m ³)	備考
D-1	0.10	0.50	0.050	100	0.0050	
D-2	0.15	0.83	0.125	100	0.0125	
D-3	0.13	0.42	0.055	100	0.0055	
D-4	0.25	0.70	0.175	100	0.0175	
計			0.405		0.0405	

損傷凡例

記号	損傷名称
~~~~~	ひびわれ
~~~~~	ひびわれ+遊離石灰
	浮き、剥離
	鉄筋露出
	遊離石灰
	表面劣化
	漏水
	豆板
	鋼材腐食
	その他

注記

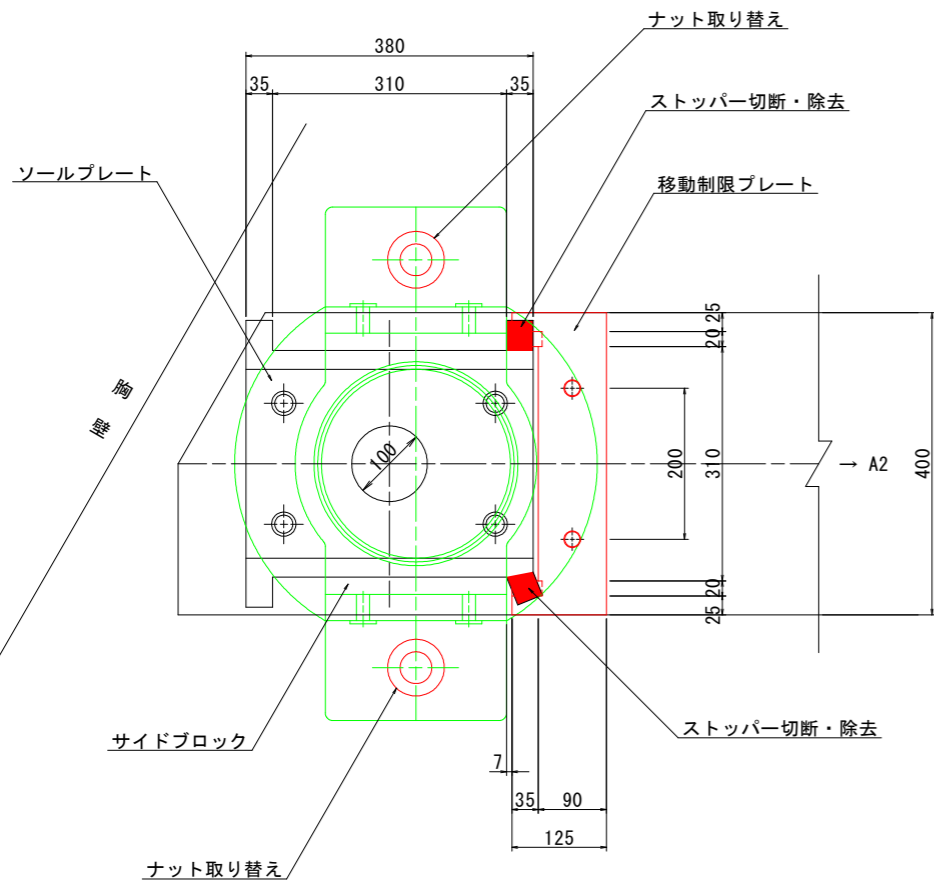
1. 施工対象箇所を事前に詳細計測し、工事数量を調整すること。

【実施設計図面】

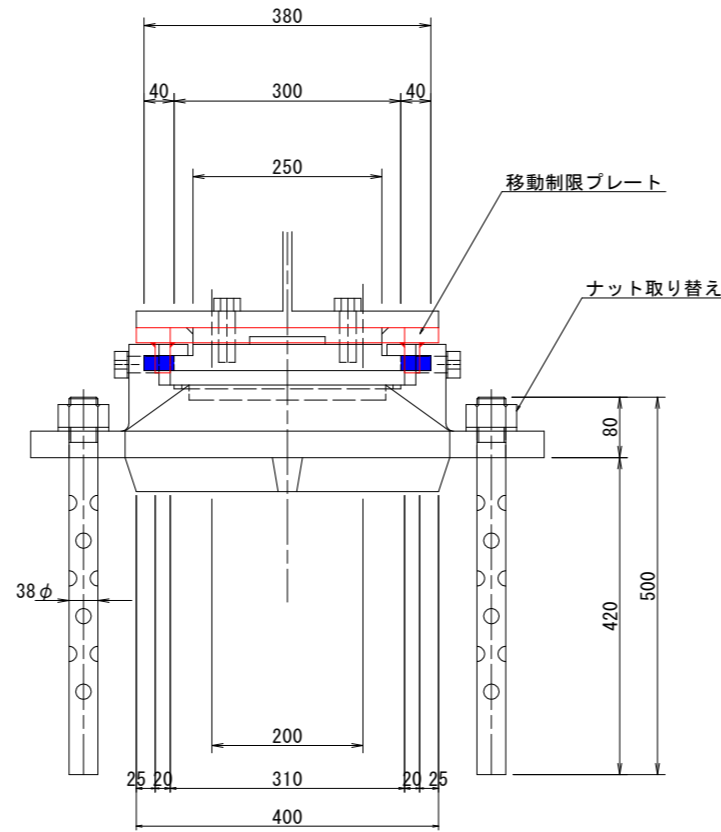
工事名	R8徳土 徳島上那賀線(新傍示橋) 上勝・傍示 橋梁修繕工事		
路線名等	徳島上那賀線		
工事箇所	勝浦郡上勝町傍示(新傍示橋)		
図面名	断面修復工詳細図		
縮尺	1 / 100	図面番号	7 / 8
年度	令和8年度		
事業者名	徳島県土整備事務所		

支 承 補 修 工 詳 細 図 S=1/5

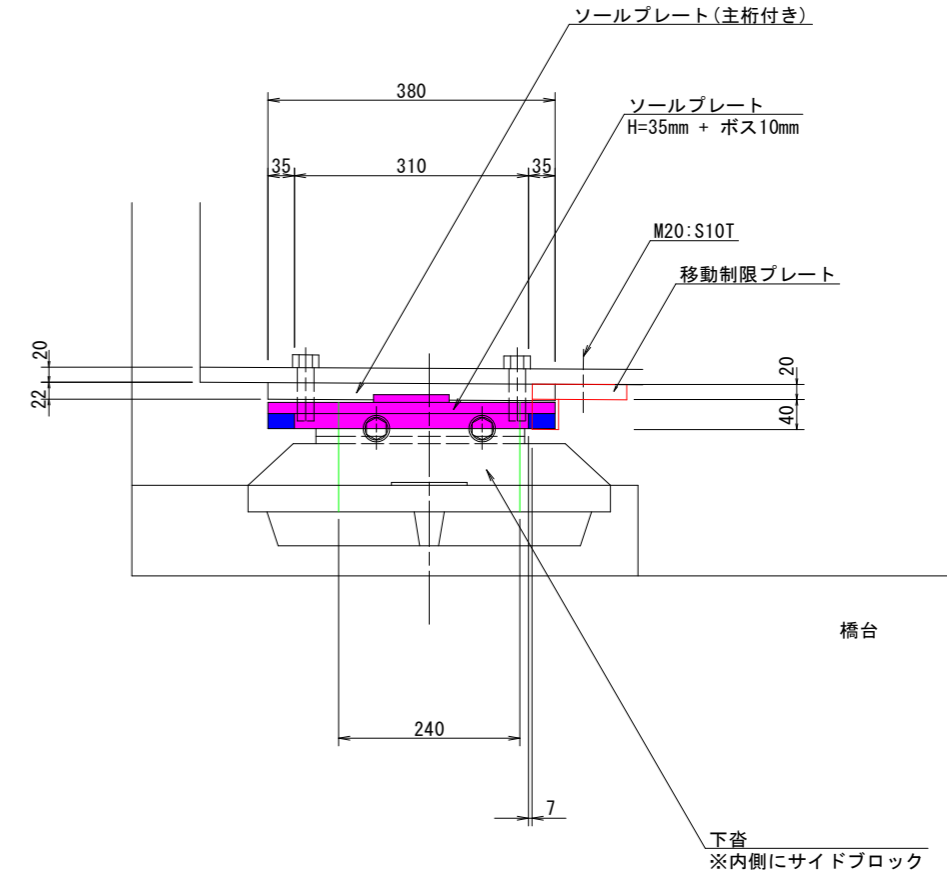
橋軸方向(平面図)
A1橋台 主桁 G1支承部



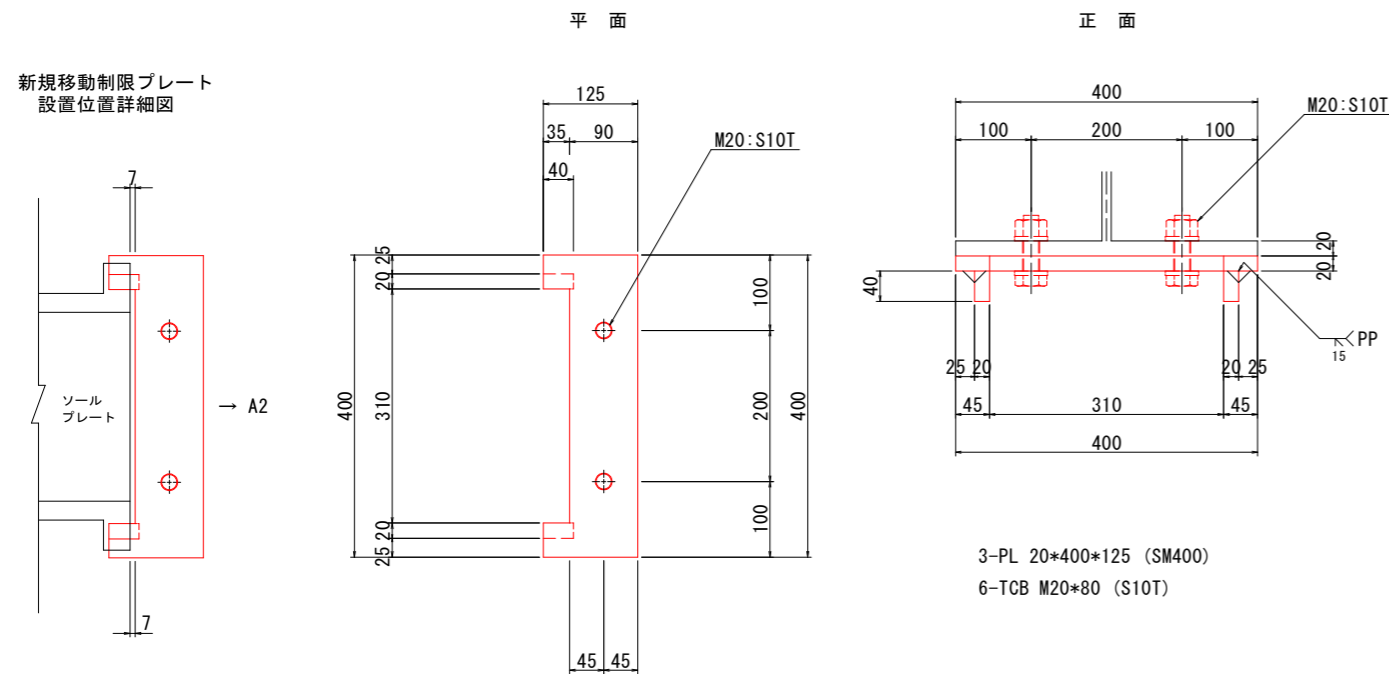
橋軸直角方向
(正面図)



橋軸方向
(側面図)

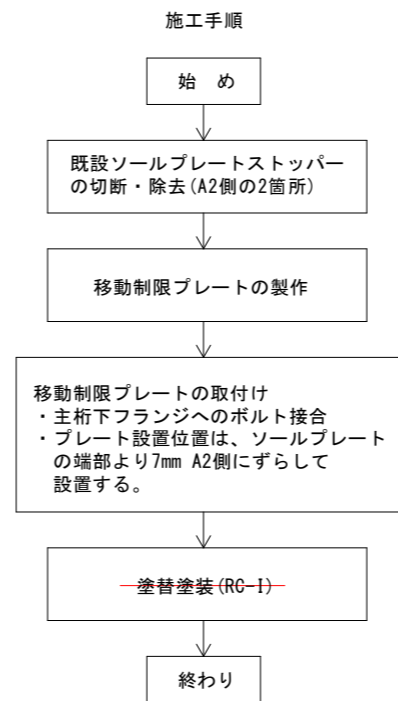


移動制限プレート一般構造図



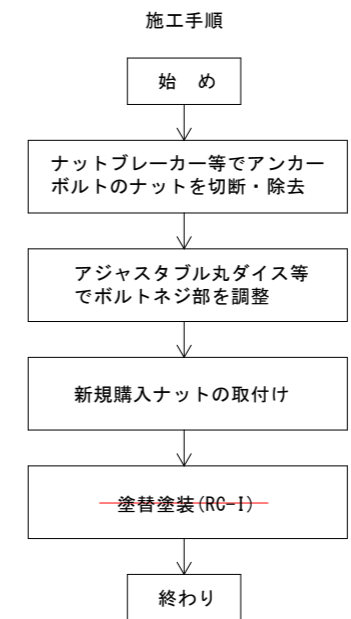
移動制限プレートの新規製作・取付け工

対策箇所：3箇所(A1G1、A1G2、A1G3)



ナット取り替え工

対策箇所：3箇所(A1G1上流側、A1G2上下流側)



注1：アンカーボルトを傷めないように注意する。
注2：ナットブレーカーは特注品を想定。

注：ナットは、調整後のアンカーボルトの規格に合わせて用意する。

【実施設計図面】

工事名	R8徳土 徳島上那賀線(新橋示橋) 上勝・傍示 橋梁修繕工事		
路線名等	徳島上那賀線		
工事箇所	勝浦郡上勝町傍示(新橋示橋)		
図面名	支承補修工詳細図		
縮尺	1/5	図面番号	8 / 8
年度	令和8年度		
事業者名	徳島県土整備事務所		